

令和3年1月1日 祈願祭

神 示

世界は<sup>今日</sup>今 見えざる<sup>運命</sup>力の<sup>真実</sup>実在を感じ始めている

人類の知識と <sup>生命</sup>命の元にある不思議な力<sup>運命</sup>

神が示す「教え」に 真理を悟れるなれば

社会に起きる変化に <sup>生命</sup>心のまれずに生きられる

人類が操れない世界の変化は 時代の中で幾度も起きている

調和と変化を繰り返し 時代は流れてゆく

不思議な力<sup>運命</sup>を 人類は抑えることも 変えることもできない

<sup>生命</sup>生ある<sup>今日</sup>今 気付くべきことと申す<sup>真実</sup>

信者に申す

「教え」に悟りを得て

「真理」で「心」重なる家庭を築く<sup>時代</sup>時

家族の心<sup>運命</sup>は 自然と重なりを深め 調和してゆく

変化を受け止め 流れに乗れた人<sup>人間</sup>が

不思議な力<sup>運命</sup>と調和する

信者に問う

「人生の真実」 その姿<sup>真理</sup>が見えたかや

知識と努力と経験で 「人生」は操れない

天寿も生かせぬ<sup>今日</sup>今の<sup>社会</sup>世に

「人生の真実」 その姿は見えない

人類には見えていない 時代の変化が大きく動いている

やがて迎える調和の<sup>時代</sup>時に

仕合せ「幸福」手にする人<sup>人間</sup>であれ

迎えた<sup>今年</sup>年の姿——社会は明と暗 大きく色分けされる

明は 調和を手にした人<sup>人々</sup>の心に映る

暗は 「人生の真実」に気付かず

「運命」を枯らす人々の姿に重なる

## 見えざる運命の力を感じる

今年一年、各人が留意すべきことを、神はこのようにご指導くださいました。大切なことは、不思議な力、運命の存在を強く意識して暮らすことです。

運命とは、社会に必要とされる、一人一人に与えられた力です。その運命どおり生きられたなら、必ず多くの人々の役に立ち、生きがいが増えます。

持って生まれた運命を引き出し、生かすところに、環境の変化にのみまれることありません。力が生かせれば、充実した毎日が送れます。反対に、運命、すなわち分、器からこぼれた生き方をしているのは、さまざまな問題が生じてきます。

今は、無数の情報が交錯し、何が人生の支えとなるのか、正しいことが見えな人々がたくさんいます。真に人生の支えとなるのは、自分の持つ運命です。

それは、人間だけでなく、万物に与えられているものです。そうした運命と運命が重なり合い、調和するところに、実

に大きな力が動くのです。

誰もが気付かなかった見えざる力、運命の存在。その不思議さに、世界の激しい変化の中で人々が感じ始めています。

## 真理を悟れば心はのまれぬ

現実の社会は、起きた事象に対して、何が原因で、どう対処すればよいのか、明確な答えが見いだせません。ただ従来の知識で対応するのみです。

その知識が最善と思っても、解決できない例が無数にあります。想定外の事柄も次々と起きてきます。そして、迷いに陥るのです。

神の教えから、物事の道理に沿って生きる重要さをつかむことです。そして、持ち前の運命に重なる生き方ができたなら、種々の変化に動揺することもありません。どのような環境にも順応でき、良さを生かして生きられます。

## 調和と変化を繰り返して流れる

世界で起こる数えきれない変化は、人が通る時代、また通さなくてはいけない時代です。教えに生きて光が通れば、必ず運命どおり生きられるのです。

## 流れに乗れた人が運命と調和

この世の仕組みを踏まえ、和のある家庭が築けたなら、社会で次々と起こる変化も、家族で受け止め、支え合って乗り越えていきます。運命の力と重なり、生きがいのある人生が歩めるのです。

もろもろの運命と調和するほど、不思議な力に守られて、仕合せに生きられます。今を極楽と暮らせます。ところが、自我強く、調和を欠くから、それを味わえない人々が多いのです。

## 今の世に人生の真実は見えない

人も、物も、環境も、時代も、運命実体が重なり合い、支え、補い、時にぶつかり合っているのが、人生の真実です。人間の知識や努力、経験などで、人生を左右することはできないのです。

いくら権力があっても、経済力があつ

間の力で操れるものではありません。もろもろの変化が、有史以前から繰り返されてきています。

新型コロナウイルスに限らず、数知れない疫病にも、人類は悩まされてきました。それらに打ち勝ってきたと豪語しても、起きた現実に対応するしかないのが人間です。経済は、時に上向き、下降し、常に波の連続です。そうした変化の数々も、時代のうねりの中で何度も起きています。

そして、変化の後には、必ず調和してきます。事が起きては収まる事が繰り返されているのです。

## 運命を変えることはできない

それは、時代の運命によるものです。不思議な運命の力は、人類が抑えることも、変えることもできません。変えられなくても、それぞれの運命が重なり合うところに、社会は調和します。

神は、運命を「不思議な力」と何度も表されています。物事が起きたり、収まったりするのは、目には見えない運命

でも、どうすることもできません。寿命

さえ操れない中で、人生の真実、運命実体で回る事実がつかめず、迷い、悩んでいる現代です。

世界は、人間には図れない時代の運命の力により、変化が続いています。今後さらさら続くでしょう。しかし、教えに生きれば、常に心は穏やかで、変化にまれず、流れに乗って調和を果たし、必ず仕合せ、幸福が手に入ります。

## 社会は明と暗に色分けされる

迎えた年、社会は明と暗に色分けされると、神は言い切られています。調和に向かう変化の中で、流れに乗れる人と乗れない人が、鮮明に分かれるのです。

何事にも調和できる人は、運命が生きて、周りから信頼され、毎日が明るく、未来が開けていきます。反対に、調和を欠き、自我強く生きる人は、運命が生かせず、明るい未来はないでしょう。明暗が分かれると言われる今年、正しい道を歩めるように努めていきましょう。

と実体から生じています。

良し悪しのある実体を修正し、運命に見合う生き方を心掛けることです。そこに、どのような環境であっても、自身の力が生かせます。運命実体で回る社会に生きる以上、ここに気付くべきです。

## 真理で心が重なる家庭を築く

神から教えるを学んでいけば、この世の仕組みがつかめ、その中でどのように生きればよいのかも分かってきます。ですから、まずは身近な家族と教えるを学び、一人一人の心が重なる和のある家庭にしていきましょう。

これは、神が何度も呼び掛けられてきたことです。開運するには、和のある家庭がどうしても必要だからです。

家族で教えるを身に付け、受け継ぐ実体を修正していくのです。物事の捉え方、考え方、生き方を高めて、心が安らぐ家庭となれば、家族が重なり、調和して、その家は神魂に大きく守られます。

今は、神魂の時代。それは、希望の光

「見えざる運命の力を感じる」

神 示

なぜ 人生に「夢」が持てず

人々の出会いに 悩み 苦しむのか

この真実を「真理」で解ける信者を目指せよ

時代は流れている

一時たりとも止まることなく

「真理」に悟りを得るところに

人間は「実体」を修正することに気持ちが向かう

時代の変化を受け入れ

自ら正しく関わる思いが芽吹く

運命の力に「心」守られ

流れに乗って「生きる」人の心が ここにある

互いに運命を引き寄せ

時代の力に生かされる人を目指せよ

信者に申す

人間が直接見詰め 感じ取れぬものが

この世には数多くある

知識は 「真理」に悟りを得て初めて

「人生」を導く知恵となる

運命の真実が見えないために

多くの人が出会いを生かせずに 悩み 苦しむ

——この世は 「心」が重なり

時にぶつかり合って 回っている——

この真実に気付いて

運命に重なる人生を 神に求めて

「教え」に生きよ

現代は、多くの人々が人生に夢が持てず、特に人間関係で悩み、苦しみを抱えています。それは、なぜでしょうか。

神の教えを身に付けると、迷うことがなくなりません。ささいなことにこだわる思いから解放され、人の言動や情報に揺れ動かされなくなるからです。

時が止まることはありません。迷い、悩んでいたとしても、自身の存在を有意義に生かせていても、平等に時は過ぎていきます。そうであるなら、一時たりとも無駄にしないことです。

神の教えから、人生の仕組み、仕合せな人生を歩む方法をつかみ、実体の修正に努めることです。不安や不満をため込まず、教えを基に、物事の捉え方、感じ方、考え方を高めていくのです。そこに、運命が引き出されます。

時が流れているなら、変化は付き物です。ですから、変化を受け入れ、折々に自ら正しく関わる意識を持つことです。自分でできることは進んでする、分を越えたことはしないと、的確に判断できれば、実に気楽に生きられます。

それが、与えられた運命に沿い、流れに乗って生きる人間です。自分なりの運命に重なるから、分、器からこぼれず、生きがい得られるのです。

運命は、誰彼を問わず、一人一人に良いものがあります。その運命の力を生かして、時代の運命、社会の運命とも重なり合って生きることです。

いかに情報があふれる社会でも、人にはつかみきれないことが、この世の中に数知れずあります。心の動き一つも自由にできないのが人間です。

人類が築き上げた知識も、真理、物事の道理に沿ってこそ、有益に使える知恵となるのです。ところが、不思議な運命の力を生かしきれない現代は、多くの縁を生かせず、苦しんでいます。

この世は、運命実体が重なり、時にぶつかり合っています。この事実に関心、運命に重なる人生を求めて、教えに沿って生きましよう。そこに実体が修正され、持ち前の良さが光るのです。